

「栃木県後期高齢者医療広域連合の財務諸表（令和3年度決算分）（単体）」の概要

1 貸借対照表について

栃木県後期高齢者医療広域連合の資産総額は197億2,294万7,538円で、負債は177万908円、純資産は197億2,117万6,630円となっている。

資産については、そのほとんどが現金預金と基金（固定資産・流動資産）である。現金預金の内訳は、各会計の剰余金の合計が67億6,277万508円、歳計外現金が1万7,659円となっている。基金の内訳は、固定資産に該当する基金が保険給付費等支払準備基金で127億4,143万9,123円、流動資産に該当する基金が財政調整基金で1億2,589万2,329円となっている。

なお、流動資産の現金預金については、出納整理期間終了時の現金預金残高を示すものであり、翌年度に国県等への補助金返還分や社会保険診療報酬支払基金への返還分など、返還金として支出する分の金額も含まれているため、純資産のうち、余剰分（不足分）の全てが本来の剰余金の要素を持つものではない。

借 方		貸 方	
【資 産】	197億2,294万7,538円	【負 債】	177万908円
固定資産	128億2,842万3,298円	流動負債	177万908円
うち有形固定資産	217万5,404円		
うち投資その他の資産	127億7,408万3,894円	【純資産】	197億2,117万6,630円
（基金）	127億4,143万9,123円	固定資産等形成分	129億5,431万5,627円
流動資産	68億9,452万4,240円	余剰分（不足分）	67億6,686万1,003円
うち基金	1億2,589万2,329円		
【資産合計】	197億2,294万7,538円	【負債・純資産合計】	197億2,294万7,538円

2 行政コスト計算書について

経常費用は総額2,188億5,017万1,082円であり、経常収益は総額2億9,672万6,118円となっている。これらの差引からなる純経常行政コストは2,185億5,344万4,964円となっている。

内訳として、性質別に見ると人にかかるコスト（人件費）が3,779万16円、物にかかるコスト（物件費等）が16億8,535万5,121円、移転支出的なコスト（移転費用※）が2,100億9,945万1,387円となっている。

※療養の給付に要した費用の支払いを栃木県国民健康保険団体連合会が行うにあたり、移転した費用などをいう。

3 純資産変動計算書について

令和3年度中における純資産は、25億8,104万6,795円の減となっている。

内訳は、純行政コスト2,185億5,344万4,964円に対して、財源が2,159億7,239万8,169円（うち市町負担金事務費、療養給付費及び保険料、社会保険診療報酬支払基金交付金等が1,241億703万3,030円、国県等の補助金が918億6,536万5,139円）であり、本年度末純資産残高は197億2,117万6,630円となった。

4 資金収支計算書について

業務活動収支は25億4,644万5,546円の赤字、投資活動収支は22億9,265万5,218円の赤字となっており、令和3年度の資金収支額は48億3,910万764円の赤字となったことから、本年度末資金残高は67億6,452万3,757円となっている。

本年度末現金預金残高は、本年度末資金残高に歳計外現金残高17,659円を加えた67億6,454万1,416円となっている。